



平成16年 8月26日

日本原子力発電株式会社

「配管減肉事象に係る点検に関する調査結果」の訂正について

当社は、平成16年8月18日、経済産業大臣に「配管減肉事象に係る点検に関する調査結果」を提出いたしましたが(平成16年8月18日発表済)、敦賀発電所2号機に係る調査結果のうち「点検対象選定方法」の中で概略表「主要点検系統」の記載の一部を訂正して、本日、国に報告いたしましたので、お知らせいたします。

なお、8月18日にお知らせしましたとおり、当社発電所の現在の肉厚管理は適切であるという点検結果に変更はございません。

以 上

別 紙

・概略表「主要点検系統」 訂正前後比較表

概略表「主要点検系統」訂正前後比較表

Ⅰ．訂正内容

<訂正前>

3．調査結果

(1) これまで行ってきた点検内容

2) 点検対象選定方法

「原子力設備 2 次系配管肉厚の管理指針 (PWR)」に基づき点検対象を選定している。概略は次頁のとおりである。

選 定 条 件			該当系統	点検部位
管内流	湿り度	温 度		
二相	5 % 以上	150℃～250℃	ヒータードレン 抽気系	偏流発生部位 及び下流側
		100℃～150℃	ヒータードレン	制御弁下流部及び 玉形逆止弁下流部
	5 % 未満	> 150℃	ヒータベント	偏流発生部位 及び下流側
单相 (水)	—	100℃～200℃	復水系 給水系	偏流発生部位 及び下流側
		200℃～250℃	給水系	制御弁下流部及び 玉形逆止弁下流部

<訂正後>

3．調査結果

(1) これまで行ってきた点検内容

2) 点検対象選定方法

「原子力設備 2 次系配管肉厚の管理指針 (PWR)」に基づき点検対象を選定している。概略は次頁のとおりである。

選 定 条 件			該当系統	点検部位
管内流	湿り度	温 度		
二相	5 % 以上	150℃～250℃	ヒータードレン 抽気系	偏流発生部位 及び下流側
	<u>15 % 以上</u>	100℃～150℃	ヒータードレン	制御弁下流部及び 玉形逆止弁下流部
	5 % 未満	> 150℃	ヒータベント	偏流発生部位 及び下流側
单相 (水)	—	100℃～200℃	復水系 給水系	偏流発生部位 及び下流側
		200℃～250℃	給水系	制御弁下流部及び 玉形逆止弁下流部

注；訂正箇所を下線で示す。

Ⅱ．訂正理由

二相流の選定条件のうち、制御弁下流部及び玉型逆止弁下流部の湿り度の記載について区分が明確でなかったため訂正する。